



**JForest** 熊本県森林組合連合会

# 森林組合だより

FOREST ASSOCIATION COMMUNICATION PAPER

**第184号**

令和2年1月発行

発行所  
熊本県森林組合連合会

〒861-8041  
熊本市東区戸島2丁目3-35  
TEL(096)285-8688  
FAX(096)285-8651  
発行人 前川 收  
<http://www.kumamori.or.jp>

子  
謹賀新年



『庚子(かのえね)』

十干の庚(かのえ)は、植物の成長が止まり新たな形に変化しようとする状態といわれ、一方干支の子(ね)は土の中で発芽した瞬間を意味しているといわれています。そこで、「庚子」が表す意味は、芽吹きと繁栄の始まりを意味し、新スタートに大チャンスが到来する年となるとされています。皆さん、今年はチャレンジ精神をもって臨むことで、大きな成果がえられる年となるでしょう。

委員 長	前川 收	他 役 職 員	同	熊 本 県 林 業 政 治 連 盟	他 職 員	同	監 事	時松 昭弘	代 表 監 事	堀川 泰注	大 岩 精 一	味 岡 和 國	桑 畑 達 美	西 坂 栄 樹	坂 田 鉄 太 郎	理 事	阿南 忠治	専 代 表 理 事	三原 義之	副 会 長	池田 和貴	代 表 理 事	前川 收	熊 本 県 森 林 組 合 連 合 会
---------	------	------------------	---	---	-------------	---	--------	-------	------------------	-------	------------------	------------------	------------------	------------------	-----------------------	--------	-------	-----------------------	-------	-------------	-------	------------------	------	--

# 新年のご挨拶

～ New year greetings ～



熊本県森林組合連合会  
代表理事会長

前 川 收

謹んで新年のごあいさつを申し上げます。

皆様におかれましては、ご家族お揃いで健やかに、新たな年を迎えられたこととお慶び申し上げます。

昨年は、年号が平成から令和と変わり新たな時代の幕開けとなりました。それと同時に森林組合系統の悲願であった森林環境譲与税がスタートし、9月に第一弾が配分されました。この森林環境譲与税は、主として、森林所有者に一番近い存在である市町村へ、森林整備等に充てるための財源として譲与されるもので、林業の安定的かつ継続的に発展するとともに、地球温暖化防止や災害防止など公益的機能が十分に発揮され、適切に管理された森林を目指すものであります。

当面は、森林所有者が自発的に森林整備を行うか否かを問う意向調査や、意向調査のための前準備等に活用されるのではないかと思います。しかしながら、林業の専門的な部署を設置している市町村が少ないことから、我々森林組合系統が地域林業の活性化のために、地域に即した森林整備が行われるよう様々な働きかけを行っていただきますようお願いいたします。

次に担い手対策については、当連合会においても、緑の雇用制度を積極的に活用する等の取り組みを行っているものの、担い手不足の解消がなされていません。特に造林関係の作業は、機械化も進んでおらず、また、厳しい労働環境も相まって、担い手の確保が難しいと実感しています。現在、全国森林組合連合会において森林整備検討委員会が設置され、補助金や契約方法などについて検討が進められてお

り、造林における経費等の見直しが行われ、少しでも労働者の賃金アップにつながればと期待しています。加えて、林業においても技能検定制度について、3年後の導入を目指し協議検討が行われているところであり、制度の確立により、作業者の待遇改善が進むことを期待しています。更に、労働負担の軽減として、様々な林業用機械やICT（情報通信技術）などが普及してきており、当連合会としましても新しい技術等の紹介にも力を注ぎ労働力の軽減化と、担い手の確保に努めたいと考えています。

また、昨年は、県内の森林組合において労働災害が多発した年でもありました。普段どおりのことをやっても、少しの気のゆるみや油断、近道行動から災害は発生いたします。林業労働安全の対策については、役職員が丸丸となって取り組むことが大切であり、今年目標としては、理事による安全パトロールの実施を是非お願いしたいと思います。ひとたび、労働災害が発生すると、本人はもとより、家庭や職場にも大きな影響を与えます。作業開始直後や終業時間前などは特に注意が必要であり、指差し呼称（口に出し指で確認する）等の基本動作の確認を改めてお願いします。

最後になりましたが、本年が皆様とご家族にとって豊かで実り多き一年となりますことをご祈念申し上げます。新年にあたってのごあいさつと致します。



熊本県農林水産部  
部長

福島 誠 二



謹んで会員並びに森林組合の組合員の皆様に新年のお慶びを申し上げます。旧年中は、本県の森林・林業施策の推進に当たりまして、格段の御支援と御協力を賜り、改めて感謝申し上げます。

さて、熊本地震から3年8カ月が経過しました。復旧・復興は着実に進んでおり、林業分野におきましても、創造的復興の実現に向けた取組みを積極的に進めています。中でも、最重要課題として取り組んでいる「住まいの再建」については、木造による災害公営住宅等の建設が順次進められています。森林からの恵みである木材は、住宅の建築材料としての役割を果たすだけでなく、その温もりが、被災者の心の復興の後押しになるものと考えています。

昨年、森林経営管理法に基づく新たな森林管理システムがスタートし、森林整備等をより一層促進するための財源である「森林環境譲与税」の配分が始まりました。各市町村においては、森林所有者の森林経営に関する意向の確認が進められており、県におきましても、相談デスクの設置や森林情報システムの構築等による市町村サポート体制を拡充したところです。

このように、林業の成長産業化に向け、時代が大きく動く中、県では、昨年4月に、次世代を担う優秀な林業従事者や林業経営者を確保・育成するため、九州初となる「くまもと林業大学校」を開校しました。

1期生として、新規就業者向けの長期課程に17人が入校しており、令和2年に向け、現在、20名を募集中です。本県林業を支える即戦力となる担い手を弛みなく育成できるよう、しっかりと取り組んで参ります。

地域林業の中心的な担い手として日々御活躍されている森林組合の皆様には、新たな森林管理システムが導入されるこの機を更なる飛躍のチャンスと捉え、それぞれの組合経営が大きく発展していくことを期待いたします。

最後になりましたが、本年が皆様方にとって輝かしい年となりますよう、併せて、ますますの御健勝と御活躍を祈念いたしまして、年頭の御挨拶といたします。



農林中央金庫 福岡支店  
九州営業統括部長

岩井 誠 二

謹んで新年のご挨拶を申し上げます。また、旧年中は当金庫の業務に格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、昨年の国内経済情勢は、上半期において個人消費や設備投資等の民需が底堅く推移し、回復基調となりました。しかし、下半期に入りますと、世界経済の減速に伴う輸出減少の影響が大きく、成長が鈍化いたしました。

本年につきましては、米中通商協議で一部合意に向けた動きがみられるほか、世界的な半導体関連需要の持ち直しが進み、輸出の回復が期待されます。しかし、消費税対策や東京五輪・パラ終了による需要一服も見込まれ、全体としては緩やかな持ち直しに留まるものと予想されます。

次に、林業情勢ですが、「森林環境税」および「森林環境譲与税」の創設が決定され、譲与が開始されていることに加え、「森林経営管理制度」がスタートする等、林業経営者を後押しする施策が次々と動き出しています。一方で、伐採後の再生林・下刈り間

題や作業班の労働力不足など課題に対しましては、引き続き、粘り強く取り組んでいく必要があるものと認識しております。熊本県におかれましては、「意欲と能力のある林業経営体」へ育成を図る林業経営体の選定に合わせて、熊本県版として「くまもとの森林を守り育てる林業経営体」の選定要領を設け、林業所有者及び林業従事者の所得向上に繋がる効率的かつ安定的な林業経営、および継続性のある林業経営の実現に向けて取り組まれています。

私ども農林中央金庫は、森林組合系統の組織力強化や、施業高度化等の幅広いサポートを通じて、微力ながらお手伝いさせていただいております。国内の民有林の再生を応援する「農中森力基金」や、森林の大切さ・系統の役割を世間に発信する国産材利用拡大活動、林業の労働安全性向上のための費用助成等についても引き続き取り組んで参りますので、ご活用いただけますと幸いです。

結びにあたり、本年が皆様にとって実り多い一年となりますよう祈念いたしまして、年頭のご挨拶といたします。

全国森林組合連合会  
代表理事会長 **村松二郎**



謹んで新年のお慶びを申し上げます。

平素は、全国森林組合連合会の業務運営につきまして特段のご理解、ご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

昨年は、相次ぐ台風の襲来や多発した集中豪雨など、自然の猛威に晒された一年となりました。

残念ながら多くの尊い命が犠牲となり、住み慣れた生活基盤や我が国の柱となる生産基盤に甚大な被害が発生し、今なお、復旧・復興の途上にあります。

お亡くなりになられた方々のご冥福をお祈りいたしますとともに、被災地の皆様にご心よりお見舞いを申し上げ、関係各位の復旧・復興へのご尽力に敬意を表します。

森林組合系統といたしても、一致協力して復旧・復興に取り組むとともに、事前防災、減災に向けての緑の国土強靱化を強く推し進めていかなければならないと考えております。

さて、昨年は令和の新たな御代を迎えましたが、森林・林業界にとりましても、永年の悲願であった森林環境税が創設され、森林環境譲与税が各自治体に初配分となり、森林経営管理制度の運用がスタートするなど、まさに新時代といえる大きな節目の一年となりました。

こうした中、森林組合系統では、森林所有者への意向調査や、意欲と能力ある林業経営者への登録など、森林経営管理制度への対応を進めてきたところです。

一方、林道等の路網整備は未だ遅れており、林業生産基盤を早急に整えていく必要がある他、境界不明や所有者不明森林の増加に対し、ICT技術の活用も含めた林業イノベーションを進め、林地情報の活用や施業の集約化・効率化を図っていかなければ

りません。

人口減少社会に突入する中、林業技能者をいかに確保するかという課題に対しましても、緑の雇用等の人材確保・育成事業の拡充に加え、安全で魅力ある職場へと就労環境の改善を図っていく必要があります。

また、森林組合経営基盤の強化に向けた制度改正の検討が進められており、地域の森林管理主体である我々森林組合系統が、組合員森林所有者の負託に応える協同組合として、事業連携強化や経営安定化に向け積極的な取り組みを進めていくためにも、系統の在り方を模索し、将来像を確立していかなければなりません。

そして、森林組合系統は、健全な森林を未来にどう残していくのかという課題と責任を負っており、伐って、使って、植えて、育てるという林業の健全な循環を通じ、SDGsの目標である持続可能な社会の実現に貢献していくことが求められます。

これらについては、昨年10月に開催した全国森林組合代表者大会において大会決議を行い、森林組合系統がこれまで培ってきた技術と能力を最大限に発揮し、災害からのいち早い復旧・復興と林業の成長産業化に取り組み、組合員と地域の信頼に応えていくことを打ち出したところです。

また、平成28年度から取組を開始した系統運動「森林・林業・山村未来創造運動」については最終年度を迎えるところであり、効率化や基盤整備、販売・供給体制の構築、労働安全やコンプライアンスなどの所要の目的達成に邁進するとともに、次期運動方針の策定を進めてまいります。

最後に、森林組合系統活動への引き続きのご指導、ご支援、ご協力をお願い申し上げますとともに、本年が皆様お一方お一方にとって、幸多き素晴らしい一年となりますよう祈念申し上げます、新年のご挨拶といたします。

**いつ襲って来るかもしれない  
「もしも」のために  
森林保険へ加入しましょう！**

台風、山火事などの災害による  
森林の損害に備え、  
森林保険にご加入ください。



森林保険  
イメージキャラクター  
マモルくん

お申し込みは…



熊本県森林組合連合会

熊本市東区戸島2丁目3-35  
TEL 096-285-8688

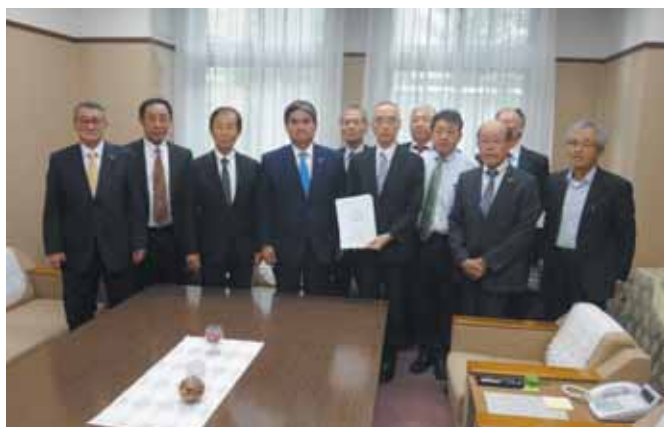
# 林業政治連盟の活動

## 国への要望活動

熊本県林業政治連盟では、令和元年10月17日(木)に林野庁を訪問し、本郷長官へ令和2年度予算に対する要望書を提出しました。その後、財務省を訪問し、太田主計局長に対し林野庁と同様の要望活動を実施しました。今回は、森林整備の予算確保、人材確保・育成、地域材の供給体制の確立を柱として、令和2年度林野庁予算概算要求に対し満額確保を目的とした要望活動を行いました。要望の主な項目については以下のとおりです。



林野庁 本郷長官へ要望書手交



財務省 太田主計局長へ要望書手交

### [要望内容]

1. 林業成長化のための予算の確保及び支援
2. 森林整備を確実に実施するための予算確保
3. 林業を担う人づくりのための総合的な支援及び予算の確保
4. 森林・山村多面的機能の発揮のための支援及び予算の確保
5. 治山事業対策実施のための確実な予算措置
6. 花粉発生源対策の推進に必要な予算の確保及び支援
7. シカによる森林被害に対する早急な対策並びに支援

## 林業施策勉強会

10月16日(水)に、林業の新たな施策に対する勉強会「林業施策勉強会」を、県選出国会議員及び林野庁幹部職員同席のもと参議院議員会館会議室において開催しました。

今回、新たな林業施策として林野庁から、

- ①「国有林改正法について」
- ②「木材利用の推進に向けた取組について」

というテーマで説明を受けました。

これらに対し意見交換を行い、特に国有林における樹木採取権については、森林組合のフィールド拡大の可能性があることから、活発な意見交換が行われました。



林業施策勉強会の状況

(出席議員)

- ・野田衆議院議員
- ・金子衆議院議員
- ・坂本衆議院議員
- ・木原衆議院議員
- ・松村参議院議員
- ・馬場参議院議員

# 令和元年度 JForest 全国森林組合代表者大会

10月17日(木)に、令和元年度の全国森林組合代表者大会が、ホテルメルパルク東京で開催された。今回は、台風19号により、甚大な被害が発生した直後であり、開催が危ぶまれたが、被災地から大会の開催要望があったことから、予定通り開催し全国から多数の出席により開催された。開会後のJforest 森林組合綱領の唱和に続き、村松会長が森林整備の確実な実行及び森林整備公共予算の確実な確保を目指して頑張りましょうとの挨拶、林野庁長官賞、全国森林組合連合会長賞の受賞式が行われた。

本県における表彰者は、役員1名、森林組合職員4名、現場技能者10名、感謝表彰3名であった。

大会決議が読み上げられた後、台風災害復旧・復興に係る緊急要望が決議され、最後に本会前川会長が、今後の林業発展と被災地の早期復旧の為にがんばろう三唱を行い、盛会のうちに大会は終了した。



表彰式の様子



前川熊本県森連会長の閉会挨拶

## 各種研修会の開催

本年度も当連合会では、会員の要望を取り入れつつ、会員組合の職員のスキルアップを図るため、各種研修等を実施した。

### 森林組合初任者研修会

開催日：令和元年5月23日(木)

開催場所：県森連 2F会議室

対象者：森林組合に入社3年未満の職員

講師：熊本県森林組合連合会

指導部指導部長 佐藤善之

指導部指導課長 田上博輝

日本サービスマナー協会

藤井祥子氏

研修内容：森林組合職員となってもめない職員に対し、森林組合の概要及びコンプライアンス、ビジネスマナー等の研修を実施した。



## 木育推進員養成講座

開催日：令和元年8月20日（初級）  
令和元年9月4日（中級）  
令和元年8月27日（上級）

開催場所：熊本大学教育学部 F1 1-C 講義室

対象者：森林組合職員

講師：熊本大学 教育学部 田口浩 継教授

内容：この講座は、本年度から施行された森林環境譲与税を活用した取り組みのひとつである「木育」について、実践プログラムの提供や指導を担う「木育推進員」の養成を図る目的で開催した。  
（初級）座学及び円形木琴・木のタマゴ作り  
（中級）座学及びい草の小物入れ・くまモンストラップ作り  
（上級）座学及び教材・教具作成



## 造林（ドローン）研修会

開催日：令和元年12月3日（火）

開催場所：八代森林組合 2階会議室及び管内の皆伐現場

対象者：森林組合中堅職員（造林担当者）

講師：（有）ミドリ 代表取締役 上原 泰 臣 氏

内容：農業用ドローンメーカー・（有）ミドリを迎え、同社が開発中のドローンによる苗木やシカ防護ネットのデモ運搬を実施した。運搬場所は、道路から高さ80m、奥行き70mの植栽現場で、シカ防護ネット50m分一袋（約13kg）、



ネット用支柱6本（約8kg）、苗木20本（約10kg）をそれぞれ30秒程度で運搬することができた。資材運搬へのドローン活用が普及することで、コスト削減が図られると期待される。また、本会で発売を予定しているコンテナ苗植栽用パワーアシストドリルの紹介もおこなった。土質にもよるが、1回の充電で約250本の穴を掘れ、軽量で急傾斜地などでも作業ができる点が特徴である。



## 理事研修

開催日：令和元年12月10日（火）

開催場所：グランメッセ熊本 コンベンションホール

対象者：森林組合理事 150名

講師：木こりの相談室／中小企業診断士  
荒川 美作保 氏

内容：理事としてコンプライアンスにどう関わるか、労働安全に対する役員の関わりや任務の遂行についての講和があった。また、理事の役割と決算資料の読み方について学んだ。多数の方にご参加いただき、質疑応答も活発に行われた。



# 代表理事専務紹介



代表理事専務  
三原 義之

この度、熊本県森林組合連合会の専務理事として選任いただきました三原でございます。

現在の森林・林業の置かれている状況は、森林組合系統の悲願であった森林環境税や新たな森林管理システムがスタートするとともに、森林資源が充実したことから従来の森林整備に加え、皆伐等の新たな事業展開が行われるなど、フォローの風が吹いています。一方で、担い手の減少・高齢化が益々進んでいます。

このような潮目の変化に柔軟に対応し、森林組合系統を支える連合会として、林業の成長産業化に向け取り組んで参りますので、皆様の協力をお願い致します。

## 新組合長紹介



緑川森林組合  
代表理事組合長  
坂田 鉄太郎

新年明けましておめでとうございます。

私は、昨年7月に代表理事組合長に就任しました坂田鉄太郎です。

今年4月より森林経営管理法が出来、森林の適切な経営や管理が求められています。

我が組合も植える、育てる、伐って使う、のサイクルの他

に森林経営管理の仕事もやっていきたいと思っています。

役職員一体となり組合員に信頼される組合運営に邁進する覚悟です。

一層のご指導を宜しくお願い致します。



上球磨森林組合  
代表理事組合長  
山神 静雄

この度の場邦弘前組合長の勇退に伴い、5月30日の理事会において代表理事組合長に就任致しました。

林業を取巻く情勢は木材価格の低迷など依然として厳しい状況ですが、管内では高齢級の山林が増える中、林構事業において大径木を処理できる加工工場を計画、来年度より本格稼働させまして、組合員へ少しでも還元できるよう努力いたしたいと思っております。

また森林経営計画を基に各事業の拡大を図り組合員の負託に答えてまいりたいと思っておりますので、各関係機関のご指導とご協力をよろしくお願いいたします。

また森林経営計画を基に各事業の拡大を図り組合員の負託に答えてまいりたいと思っておりますので、各関係機関のご指導とご協力をよろしくお願いいたします。

環境にやさしく植穴掘の軽労化を図る

## コンテナ苗植栽用充電式 パワーアシストドリル 「植穴名人」

～充電式ドリルで  
安全・快適植穴掘り～

- 先端の三角翼で毛根域に侵入し根がらみ抑制
- 粘性土壌、礫混じり土壌でも目詰まり抑制掘削
- オーガー螺旋翼で効率排土し植穴形成
- コンテナ苗150cc用はφ50、300ccはφ60オーガー



【お問い合わせ】



熊本県森林組合連合会

熊本市東区戸島2丁目3番35号 TEL096-285-8688